



高知県介護福祉士会広報誌 — 第32号 —

喜怒哀楽

K I D O A I R A K U

- 発行 高知県介護福祉士会
- 編集 広報委員会
- 事務局 〒780-8567
高知市朝倉戊375-1
高知県社会福祉協議会内
TEL 088-844-4611
FAX 088-844-9443
- URL <http://kaigo-kochi.jp/>

小・中学校介護出前講座を実施して

副会長 土居 沙織



平成28年度、当会では新しく県の補助金事業であるキャリア教育推進事業として、高知県内の小・中学校を対象とした「介護出前講座」を行いました。

今年度、小・中学校合わせて5校で実施する予定を組み、募集したところ、小学校2校、中学校7校からの依頼があり、小学校1校、中学校6校での実施となりました。

中央、西、東の各ブロック理事、NEXT委員・メンバーが講師となり、各担当ブロックの学校で出前講座を行っています。

現在、将来の介護・福祉を担う人財を育てるために、色々な事業、研修が行われています。その中でも、小学校、中学校という年齢で「介護・福祉」に触れることは重要な役割を果たすのではないのでしょうか？

出前講座の中では、難しい話をするのではなく、高齢者の特徴を分かりやすく説明した後、「歳を重ねる、障がいを持つというのはどんなことなのか」「車椅子に乗るとどんな感覚なのか」「目が見えない、見えにくいとどんな感覚なのか」などを実際に体験してもらうことで、普段何気なく自分たちが生活し、移動している所でも「怖い」「不便」と感じるところがあることを知ってもらう第1歩として体感してもらっています。

どの学校も、講義、体験に興味を持ち、取り組んでくれました。アイマスクをして、教室内や、体育館内を友達誘導で移動してもらう体験では、「どこ？どこへいくが？」「ちゃんと連れて行ってよ」「怖い、歩けん」と素直な感想が口々に出ていました。

小中学校の時には、そういった素直な感想、「こういう生活の人たちもいるんだ」「こんなところが手助けが必要なんだ」ということを知ることが大事だと思います。

学んだこと、体験したことを一時的でなく、「小学校で体験したら次は中学校で」、「中学校で体験すれば次は高校で」と学びのステップアップができるよう、出前講座や、いろんな事業が次につながる事業として継続できればと思います。

介護・福祉職が「いい仕事、必要な職種だけど大変な仕事」という世間一般のイメージの先行ではなく、「将来何になりたい？」という質問に「介護福祉士」と答えてもらえるように、今現在、活躍・活動している皆さん、私たち自身が「介護・福祉」の仕事の素晴らしさ、やりがいを伝えていきましょう。

「住み慣れた我が家でずっと暮らしたい」
その気持ちを土佐ガスは応援します!

福祉用具 ショップ販売

福祉用具 レンタル

住宅改修

土佐ガス

aico [あいこ]

☎088-828-8580

高知市朝倉西町1丁目10-16
(国立病院を西へ徒歩10分)

フロアリーダーとして思うこと



理事(特別養護老人ホーム ウエルプラザやまだ荘) 田中 甫味

皆さんは事業所や施設、フロアでどのような役割を担っているのでしょうか。私は特別養護老人ホームでフロアリーダーをしています。リーダーとは、ざっくり言うと皆をまとめるポジションですよね。しかし、同じリーダーでもフロアやその職員によって求められるリーダー像が違います。女性として自信をもって言える呼ばれ方ではないのですが、以前所属していたフロアでは「親方みたい」と言われることもあるくらい、リーダーとして色々なことを自分で決め背負っていましたし、私はそんな自分が嫌いではありません。

しかし、新しいフロアに異動後はそんな親方気質は影を潜め、職員の気付きや時には愚痴にもより深く耳を傾け調整していくコーディネーター的な役割を担っています。どちらがリーダーとして良いということではなく、人はその場その場で自分の役割や求められていることを探し、それを認めてもらうことで所属意識やチーム感も生まれてくるのではないのでしょうか。また、他の人を認めることで仲間を得ることができると思います。リーダーとして求められてきたことのギャップに異動当初は困惑しましたが、今では「こんな私もいたのか」、「こんなアプローチでも職員をまとめることができるのか」と発見があり、新しい私でより良いフロアを作っていくと取り組んでいます。



私は、仕事をする上でチーム力を大事にしたいと考えています。リーダーとして、フロア職員皆に役割があり、自分の居場所と感ずることができるフロアを作っていきたいです。職員一人ひとりの個性が活かることによって様々なご利用者のニーズにも応えることができると思います。福祉現場の人手不足がクローズアップされる現在ですが、この仕事の楽しい所や私達介護福祉士の強み、喜びなどを多くの



人に知ってもらうためにも、今私達が下を向いてはいけなと思います。本当に毎日心身共に大変で、帰宅したらあっという間に睡魔に襲われるなんていうこともあると思います。でも、その大変さを消すくらいの楽しいことや幸せだと感じる瞬間が福祉の現場にはあるのではないのでしょうか。皆さん、今日どの様なことで笑いましたか。どの様なことでご利用者を笑顔にしましたか。それを職場の仲間と共有してみてください。笑顔には人を幸せにする力がありますよね。幸せだから笑うのではなく、笑っている所に幸せはやってくるのだと思います。そう信じてポジティブに、また明日からも一緒に頑張っていきましょう。

当社は、地域の雇用と業界の成長をサポートします



株式会社 穴吹カレッジサービス

〒760-0021 香川県高松市西の丸町 14-10

●介護職員向け教育研修

詳しくは下記のお電話からお問い合わせください

TEL : 087-823-0303

URL : <http://anabuki-cs.jp/>

「ふくし」と「ほおっちょけん」と私

高知市社会福祉協議会 今村 文哉

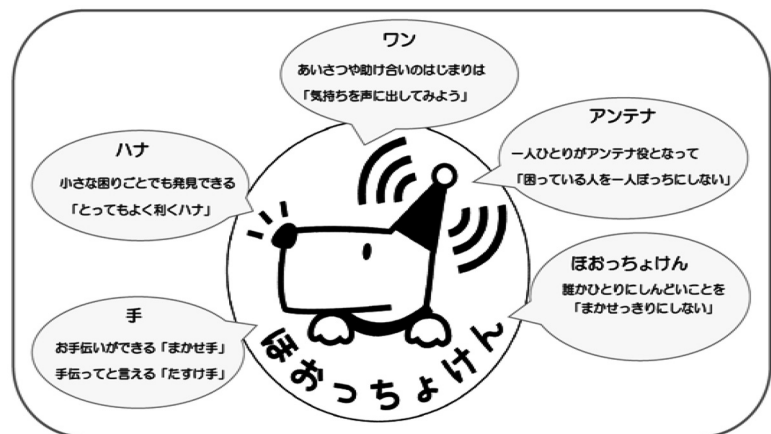
学校で行われる福祉の体験学習へ参加した子どもたちに福祉のイメージについて聞いてみると「高齢者や障がいのある人たちのこと」と答えが返ってきます。この言葉には、自分とは関係のない“他人事”と捉えていることが隠されています。これは子どもに限らず、その親も地域の方も似たような福祉感を持っているのではないかと思います。福祉は他人事、そんな不幸なことに関わりたくないという意識が蔓延した社会では、助けてと言うことが難しいでしょう。小さなSOSが出せない地域は生活の困りごとを複雑にし、深刻にしていきます。2015年には生活困窮者自立支援法が施行され、あらゆる生活上の課題に対応する相談窓口が市町村に設置されました。この法律は、生活困窮者のセーフティネットとして自立と尊厳確保とともに、支援を通じた地域づくりを柱としています。「支える、支えられる」という関係ではなく「相互に助けあう」こと、おたがいさまの地域があることが大事な視点だと伝えていきます。

これからの福祉は、最低限度の生活保障にとどまらず、その人らしさを地域の中でどう大切にしていけるか、サービスだけに依存せず、一人ひとり支え合うことのできる地域福祉をどうつくっていくか、というメッセージが込められています。

なので私は子どもたちに社会福祉の意味を伝える時に「ふくし」と表記し「ふだんの 暮らしのしあわせ」と考えてもらうようにしています。普段の暮らしの幸せの主人公は“私”です。一人ひとりの得意なこと、苦手なこと、できること、できないこと、そうした違いを大事にしなが、人として「同じ」に思いをはせてもらいたいと、学校での「福祉教育」だけでなく、地域にある集いの場で「おたがいさまの地域社会の実現」に向けて奮闘しております。

高知市社会福祉協議会には「ほおっちょけん」というキャラクターがあります。困っている人がいたら「ほおっちょけん」と言いながら住民がおたがいさま意識、気配り、思いやりといった主体性を発揮するためのサポートをしている姿は、皆さんの心の中に生息しています。ぜひ“私”の心にほおっちょけんを見つけてください。それがきっと「ふくし」に繋がります。

困っている人がいたら「ほおっちょけん」



総合人材サービス 社団法人 日本生産技能労務協会会員 派36-300012
WORK STAFF ワークスタッフ

高知営業所

〒780-0088 高知県高知市北久保12-8
tel.088-878-0900

朝倉人材採用 受付センター

〒780-8050 高知県高知市鴨部1丁目12-12
tel.088-844-0009

四万十人材採用 受付センター

〒787-0013 高知県四万十市右山天神町9-25
tel.0880-35-9955

前給

給料日前に働いた範囲内のお金が受け取れる制度です。
(当社規定を)

第7回こうち介護の日、会員交流会について

理事 森田 誠

平成28年11月6日(日)、高知駅前旅広場にて第7回こうち介護の日イベントが開催され、高知県介護福祉士会も協賛企業の皆様のご協力のもと相談コーナーやブースを出展させていただきました。

追手前高校吹奏楽部の皆さんによるオープニング演奏から始まり尾崎知事のあいさつ、お笑いコンビのニッチェのライブもあり、終始にぎわいの絶えないイベントでした。

高知県介護福祉士会としてはリーフレット500部配布、その他ポケットティッシュ1000個、お菓子など配布し、高知県介護福祉士会や介護の日の啓発活動、介護相談を行いました。

その中で特に私自身印象に残ったことは、午後から行われた学生さんや当会理事、NEXT委員が参加した、ヘルプマンでご存知のくさか里樹さんによるトークセッションでした。それぞれの立場から介護に対する意見や考え方、思い等を聞くことができ、介護に対する3Kのイメージも少し変わってきているように感じ、介護の明るい未来を望める有意義なトークセッションだったと思います。



ほぼ毎年雨の介護の日でしたが、この日は青空



NEXT委員中野さん(中央)と森本理事(右端)

11月26日にはNEXTボウリング大会と、サンライズホテルにて会員交流会が開催され、介護福祉士会理事、会員、協賛企業、会員以外の介護に携わる41名が参加し、ボウリング大会の結果発表、景品



NEXT委員による、進行くだぐだながらも笑いの絶えないボウリング大会結果発表と景品贈呈

贈呈、ジャンケンによる現金争奪ゲームなどを行い、たいへん盛り上がりました。各テーブルではそれぞれの介護に対する思いや、自分たちの職場で行われていること、感じたことなどの意見交換が行われたり、普段抱いている疑問や不安などの相談、これからの介護について熱心に話し合ったり、職場や年齢の垣根を超え、前向きな意見が飛び交う大変有意義な交流会であったと感じました。

介護の日の啓発活動や会員交流会は来年度も企画しており、少しでも多くの方に参加していただくことでより良い内容、充実した会となると思いますので、来年はぜひ参加をお願いいたします。

介護・福祉用具の販売・レンタルの事なら、お任せ下さい！

alfresa アルフレッサ篠原化学株式会社

シルバー事業部 高知市南御座9-41 (展示場)

TEL088-882-5000 <http://www.e-shinohara.co.jp>

平成28年度第3回NEXT勉強会「必要とされる口腔ケアの理解」報告

NEXT委員 井上 浩太

平成29年2月4日高知県介護福祉士会青年部NEXT主催の研修を行いました。

今回は、「必要とされる口腔ケアの理解」というテーマに基づき、口腔内のトラブルや口腔ケアの必要性について学びました。予定していた参加者定員30名を大きく上回り、51名の方に参加していただきました。私たちは日常生活動作の支援をしていく中で日頃より口腔ケアに携わる身として、基本的な介助方法の動作を理解して行っていたつもりでしたが、今回の研修を通し介助方法の理解だけではなくプラスα口腔



講師 歯科衛生士 楠瀬氏(写真中央)

内のトラブルから引き起こる病気の関連性について考え、知ることができました。講義の中では今まで耳にしたことのない単語なども含まれていましたが、事例や実際にトラブルが起こった口腔内の写真などを参考に詳しく説明して頂き、口腔環境を整える重要性を身近に感じることができました。また、口腔ケアを行う手順一つひとつを大切にすることがより良い支援に繋がると感じました。

また、講義だけではなく後半には実際にペアになって口腔ケア用品を使用し、互いに口腔ケアを実践しました。講義の中での説明を振り返りながら受講された方々が真剣に取り組んでいる姿も見られました。互いに正しい口腔ケアの方法について相談する場面などもみられ、一緒に学び、その情報を共有することにより参加者の口腔ケアに対する意識が高まっていることを感じました。NEXTメンバーも受講されている方々とともに口腔ケアを行いました但实际上やってみると、講義を受ける前と講義後では着目する点などに違いがあり、改めて口腔ケアの難しさや重要性を実感しました。

今後、各事業所に戻り今回学んだことを意識的に実施し、新たな視点をご利用者に向けることでより良い支援に繋がれば良いと思いました。



NEXT委員も練習してみました



日本ダストコントロール協会加盟店
清潔と快適の総合サービスをめざす リユース&リニューズ

有限 株式会社 リースキン高知

〒781-0252

本社 高知市瀬戸東町2丁目77番地2

営業所 高知市長浜1592-4

TEL (088)841-6336 Fax (088)841-5668

●●●研修・イベントのお知らせ●●●

日程	内容	会場	定員
4月22日(土)	平成29年度総会 第1回全体研修会 「介護福祉士に求めるもの ～リハビリテーション科医師の 立場から～」	南国中央病院 副院長 宮本 寛 氏	ふくし交流プラザ 未定
5月18・19日 (木・金) 6月24・25日 (土・日)	介護福祉士基本研修 (全4日間)	高知県介護福祉士会 理事	ふくし交流プラザ 40名 予定

研修会と併せて総会も
ぜひご参加下さい！

29年度も様々な研修を予定しております。ぜひご参加ください！！

※各研修会の要綱は、準備ができ次第本会ホームページに掲載します。

(ホームページアドレス <http://kaigo-kochi.jp/>)

研修会について何かご要望等ありましたら、下記のメールアドレスまでお願いいたします。

ccw@kaigo-kochi.jp

●編集後記●

2017年の新しい年が明けて、早くも3ヶ月が過ぎようとしています。昔からのことわざで「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だという意味があるようです。皆さんはどのような計画を立てましたか。国家試験に向けて頑張られた方もいるでしょうし、自分のスキルを高めていきたいと、意欲を燃やしている方もいるでしょう。

スキルという意味では、平成29年度も介護福祉士会では沢山の研修を準備しています。ぜひ仲間と一緒に研修に参加し、知識を習得していきませんか。過去の研修風景もホームページに掲載していますので、ご覧になってみてくださいね。

*ちなみに私は、ほぼ毎日日記とダイエットを元旦の日の出に誓いました！

広報委員 濱口 恵

訪問歯科診療のことなら
まずお電話を!

高知県
歯科医師会 **在宅歯科連携室**

088-875-8020

お電話での相談は無料です。

(受付時間：月～金 9時～17時 ※祝日・年末年始を除く)

在宅歯科連携室では日頃、高齢や障害等の理由で
歯科診療所に通院できない方々がいつまでも口から
食べ続けられるよう、在宅で歯科診療が受けられる
ように相談窓口を開設しています。